

日中国交正常化 45 周年記念に係る中国中山市訪問報告書

長崎市議会議員 内田 隆英

1. 訪問の日時と目的

2017 年 11 月 2 日から 11 月 5 日まで、中華人民共和国長崎総領事館から、日中国交正常化 45 周年を記念し長崎市議会への招待を受け、市民友好都市である広東省・中山市を市議会議長を団長とした市議会各派代表者の一員として訪問しました。

2. 訪問の概要

中山市への最短の行程は、香港空港に到着後、香港中港城からフェリーで中山市へ向かう行程しかなく香港空港経由での行程となりました。

中山市へは、空港到着後に乗るフェリーがなく、翌日朝からフェリーを使って中山市へ行くことになりました。

訪問した中山市では、人民代表大会（市議会に相当）への訪問と孫文故居記念館を視察しました。また、初日と三日目の宿泊地である香港では、世界新三大夜景都市に認定されている香港の夜景の視察に行ってきました。

中山市へは、香港からフェリーで中山港に着き、バスで移動し中山市役所に向かいました。

中山市役所では、中山市人民代表大会の前で、黄識航・中山市外事僑務局副局长の出迎えを受け、表敬訪問の会場へと案内されました。

3. 表敬訪中団歓迎式

中山市からは、唐穎（とうえい）中山市人民代表大会常務委員会常務副主任など 6 名の方が出席され、懇談を行いました。

唐穎・常務副主任から、中山市の概要および中山市人民代表大会について説明を受け、その中で「中山市と長崎市が 2011 年に友好協力関係を結び、相互の交流が頻繁になり、経済、教育、文化などの分野でかなりの成果を上げていること。2017 年の 9 月には、中山市の教育代表団一行が長崎市で温かいおもてなしをいただき、目的を達成することができた。今後も、相互の訪問を通じて各分野での交流を発展させ、友好関係を築いていきたい」との旨の歓迎の挨拶を受けました。

長崎市からは、野口議長が「中日国交正常化 45 周年を記念して総領事館からの招待を受け、中国と長崎との友好関係をはかることから友好都市である中山市を訪問することになったこと。さらに、2017 年 8 月には、子ども夢体験事業

で中山市政府および華僑中学を訪問、9月には中山市の華僑中学の中学生が長崎市を訪問した。今後とも、お互いの子どもたちの交流を行っていくとともに、両市の友好関係のさらなる充実と発展につなげていきたい。また、長崎市は、香港、モナコとともに世界新三大夜景都市に認定されており、子どもたちだけではなく、中山市の多くのみなさんが長崎市を訪れることを期待しています」との挨拶を行い、和やかに歓談しました。

表敬訪中団歓迎式終了後、意見交換会が行われ、中山市および長崎市の近況や両市の友好関係などを話題としながら意見交換を行いました。

翌4日、訪問団は高速道路を利用して移動し、孫文生誕の地「孫文故居記念館」を視察しました。記念館には、孫文に関連する資料がたくさん並べられていました。また、孫文を支援した長崎市出身の梅屋庄吉の写真も展示されていました。

視察終了後、中山市内に戻り中山港からフェリーで香港中港城へと向いました。香港では、長崎、モナコとともに世界新三大夜景都市に設定されている香港の夜景を視察しました。

私たちが視察したときは、運も良かったらしく寒くもなく夜景もきれいに眺めることができました。世界新三大夜景都市に認定されるだけあって、長崎・稲佐山から見る夜景とはひと味違う、すごい臨場感を味わうことができました。

4. 最後に

日本共産党長崎市議団は、現在政務活動費を使つての海外視察は、市民の暮らしの状況から必要に迫られた視察に限るべきであり、議員の年期によって海外に行ける制度での視察には反対し、辞退してきました。

今回の訪問については、日中国交正常化45周年を記念し、駐中国長崎総領事館からの招待（旅費の大半を総領事館が長崎市へ寄付）を受けたこともあり、今後ともの日中友好関係を築くという観点から、党市議団を代表して参加させていただきました。

中山市など友好都市との交流を深めることで、平和的な外交を進めることができるとともに、お互いの発展につながって行くことを感じ取ることができました。また、香港の街並みは、高層ビルが建ち並び高速道路の整備も進み中国経済の発展の状況を目の当たりにすることができました。